



交野おりひめ大学通信



一人じゃ出来ないことを、10人で、50人で、100人で！

令和4年12月号

KATANO ORIHIME UNIVERSITY
交野おりひめ大学

きさいちBASEのクリスマスマーケット&ライブ、盛況のうちに終了！

交野おりひめ大学と子どもたちの未来を考える仲間たちが、12月3日(土)きさいちBASE(グリーンビル)に交野において、クリスマスイベント「きさいちBASEのクリスマスマーケット&ライブ」を開催、親子連れや市民400名ほどが来場し、盛況のうちに終了しました。

現在、交野おりひめ大学と子どもたちの未来を考える仲間たち(きさいち邸産菓日・わいわい)ともねと・一般社団法人らもりーる・greenstone)はかねてから連携を進めており、今回のイベントもその一環で開催されたもの。

「子どもたちの未来を考える」というビジョンを共有しながら、連携した活動を進めています。

さて、今回のイベントは、ゴスペル、ジャズピアノ、アカペラやウクレレ演奏など、クリスマスにふさわしいライブを内外のステージでたっぷりお届け♪

特にゴスペルグループMMG8は、屋外ステージで庄巻の迫力！筆者個人の感想ですが、桑田さん世代なので「白い恋人たち」がグッときました。(笑)室内ステージでは、交野新聞5月号で紹介したゾルダ&山口夫妻が「ふわふわ音楽工房」として、音楽クイズも交えながら、すばらしいピアノ演奏を聞かせてくれました。さすがプロの音楽家！



↑ゴスペルMMG8庄巻の迫力



↑ウクレレ、子どもたちに好評



↑アカペラの透き通る歌声

ライブ以外にも、子ども達も楽しめるワークショップや、大人向けの本格的なものも。特に、ゼロ円アール工房は、フィンランド発祥の麦藁を使った伝統的なクリスマス飾りである「ヒンメリ」づくりのワークショップを出店。実はこの材料の麦わら、クラフトビール部で栽培したものなんです。

その他にも、クラフト小物、手づくり菓子、パン、コーヒーなど、つくり手の思いのこもった品々やこだわりの逸品が出店され、来場者はそれぞれの出店者のこだわりを感じながら、イベントを楽しんでいました。

屋外会場で、とくににぎわったのがそば学科出店の「お米のグラムあてゲーム」お玉やスプーンを使って、指定の150gピッタリを当てるもの。これが簡単なようで意外に難しく、なかなかピッタリ賞が現れず。特に賞交野産ヒノヒカリ新米2kgの獲得をめざし、来場者たちは計量器の目盛りに一喜一憂し、歓声をあげていました。そんななか、2名の方が見事にピッタリ賞を射止め、新米2kgを獲得！実は、このピッタリ賞、2名とも小さなお子さんでした！無欲が呼んだ勝利でしょうか(笑)



↑こだわりの逸品が

- そば学科
- おさげ学科
- デザイン学科
- ゼロ円アール工房
- クラフトビール部
- てがみ学科
- 里のしぜん学科
- カフェ部
- 酒づくりの会
- かののカンヴァス

学科生募集中！



こちらは、開始1時間であつという間に完売！好評の声にこたえ、急遽追加の肉を仕入れ、「タンドリーポーク」を販売しました。こちらも大好評！

本格的な冬の到来前の穏やかな気候のなか、多くの方に「ご来場いただき、ありがとうございます」とお言葉をいただきました。子どもたちの未来を考える仲間たちの初コラボの事業となりましたが、今後我々のコンセプトである「一人じゃできないことを、10人で、50人で、100人で」をモットーに、仲間たちの各団体と連携しながら、地域の魅力発信や、学びと遊びで人もまちも元気にするような取り組みを進めていきたいと考えています。

(今月の「おりひめ大学」にこの人あり。)は、お休みします。)